

みやぎ・復興の歩み ココロアル『ム

2

Contents

宮城県知事ごあいさつ	— p.2
被災状況	— p.3
震災復興計画	— p.5
復興の進捗状況	— p.6
地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）	— p.9
地域の復興状況（石巻エリア）	— p.13
地域の復興状況（仙台沿岸エリア）	— p.17
地域の復興状況（内陸エリア）	— p.21
宮城県への支援状況	— p.23
復興市場・商店街	— p.25
復興の歩み（年表）	— p.27
被災者支援情報	— p.29

この冊子は、東日本大震災から2年が経過した宮城の復興の様子と、被災された方々が自ら取材した復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。

県内初の防災集団移転促進事業として昨年8月に着工した岩沼市玉浦西地区約20ヘクタールの造成工事の様子。被災した沿岸部6地区の集団移転先として、平成25年秋に造成を完了し、翌春の住宅入居を目指しています。約300戸の住宅が建設される予定です。平成24年度は県内各地で復興まちづくりに向けた工事が始まりました。

ごあいさつ

東日本大震災の発生から2年が経過しました。宮城県は甚大な被害を受けましたが、国内外の多くの皆さまからのご支援と数えきれない励ましの言葉に支えられながら、県民一丸となって復旧・復興に取り組んでおります。

改めまして、これまで賜りましたご支援などに深く感謝申し上げます。

この「みやぎ・復興の歩み2」は、震災から1年が経過した平成24年3月からの1年間を中心に、一日も早いふるさとの復興を願い、ひたむきに取り組んでこられた方々の思いを綴った冊子です。全国の皆さまには、この冊子を通して「宮城のいま」を、そして「被災者のいま」を知っていただきたいと思っております。

宮城県は、津波被災地の一部を除き公共インフラの復旧をはじめ徐々に震災前の姿を取り戻しつつありますが、一方では未だ10万人を超える方々が仮設住宅での生活を余儀なくされており、まちづくりなどの本格的な復興は緒に就いたばかりです。

また、震災によりやむなく住み慣れた土地を離れ、県外に避難された方々も多くあります。避難先の自治体や支援団体の皆さまからの避難された方々へのきめ細かなご支援に対しまして、改めて御礼を申し上げます。

わが県が目指す創造的復興を果たすにはまだまだ長い時間が必要ですが、ふるさとの復興を望む県民のために、また皆さまからいただいたご支援に報いるためにも、壊滅的な被害からの復興モデルをお示しできるよう、今後とも精一杯取り組んでまいります。

全国の皆さまにおかれましては、復興に取り組む宮城県をご理解いただくとともに、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宮城県知事 村井嘉浩

